

臍由来ラクトバチルス属乳酸菌が新生児の腸管上皮細胞に及ぼす影響について
～学会発表のご報告～

株式会社キティー（東京都新宿区、代表取締役社長 朝木 宏之）は、第 89 回日本細菌学会総会および日本農芸化学会 2016 年大会において、乳酸菌の研究成果を発表いたしました。

乳酸菌は、私たちの腸内に常在する主要な細菌の一つです。母親の臍周辺に生息する *Lactobacillus* 属乳酸菌 (Vaginal lactobacilli : VLB) は、分娩時に母子間で垂直伝播することで、極めて初期の新生児の腸管に存在することが報告されています。しかし、VLB が新生児の腸管機能に及ぼす影響について明らかにされていませんでした。本研究では、ヒト胎児由来腸管上皮細胞に対する VLB のプロバイオティクスとしての機能および免疫系に及ぼす影響を調べました。その結果、VLB は人工胃液に対する耐性および腸管上皮細胞に対する付着性を有するとともに、病原菌の菌体成分による炎症サイトカインの産生を抑制することが明らかになりました。このように、VLB は新生児の腸管に到達し、病原菌による炎症を抑制することで、免疫力が未熟な新生児の腸管の健康維持に寄与していることが示唆されました。

なお、発表の詳細は下記のとおりです。

- 学会名 第 89 回 日本細菌学会総会
場所 大阪国際交流センター (〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6)
開催日 平成 28 年 3 月 23 日 (水)～25 日 (金)
演題 Vaginal lactobacilli suppress the inflammation by LPS stimulation through the down-regulation of TLR4 expression.
演者 ○Keisuke Tobita, Itsuki Watanabe
- 学会名 日本農芸化学会 2016 年大会
場所 札幌コンベンションセンター (〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1)
開催日 平成 28 年 3 月 28 日 (月)～30 日 (水)
演題 Human vaginal lactobacilli inhibit the inflammation by lipopolysaccharide stimulation through modulation of toll-like receptor expression.
演者 ○Keisuke Tobita, Itsuki Watanabe



■本件についての問い合わせ先
株式会社キティーバイオ事業部
東京都新宿区荒木町 5 番地 SEI ビル
TEL: 03-6457-7990, FAX: 03-6457-7992